

# 伊賀市議会だより

No.48  
2017.2.1



学内牛舎



学内豚舎

いのちをはぐくみ、いのちをつなぐ。

愛農学園農業高等学校



学内農場



## 伊賀線経営安定化等基金条例の制定

平成29年4月1日から

全員賛成で  
可決

## 伊賀線の事業運営に必要な資金に充てるため3億円の基金を設置

伊賀鉄道が公有民営方式となります

### 公有民営方式とは？

現在、近畿日本鉄道(株)が保有している鉄道施設及び伊賀鉄道(株)が保有している車両を市に譲渡することで、市が第3種鉄道事業者となり、市はこれらを第2種鉄道事業者である伊賀鉄道(株)に無償貸与して運行するもの。市が第3種鉄道事業者となることで、国からの補助等がうけられます。

### 質疑(委員会)

**問** 基金3億円の原資と根拠は。

**答** 平成27年3月に近畿日本鉄道(株)と交わした確認書に基づき同社から支払われるもので、円滑な体制移行のための経費及び現時点で想定される赤字相当分です。

**問** 今後10年間の維持管理経費の見通しは。

**答** 施設の修繕、更新等で約25.5億円を想定しています。

### 討論(委員会)

**賛成** 経営安定化に向けて基金を積むことは大事であるが、経営感覚を持って運用にあたってもらいたい。

## 指定管理者の指定

(菜の舎、バイオ燃料センター)

指定管理者：一般社団法人大山田農林業公社(伊賀市平田)  
指定期間：平成29年4月1日から平成34年3月31日まで

賛成多数で  
可決

### 質疑(委員会)

**問** 菜種油が伊賀ブランドに認定されたが、売上げ状況は。

**答** 収穫する量で変動しますが、この2、3年は販売額が伸びてきています。また、高島屋と取引を始めたため、今後売上が上がると見込んでいます。

**問** 菜種は連作ができないが、採算は取れているのか。また、水の影響を受けると作付けには悪条件となるが、その対策は。

**答** 菜種の作付けに対して国から1袋1万円の補助金がありますが、収支はぎりぎりの状態です。水への対策は、水田の周囲に深い溝を掘って田の中に水が滞留しないよう指導をしています。



菜の舎

### 討論(委員会)

**反対** 平成28年度当初予算の指定管理料が150万円で収支が黒字の見込であるのに対し、今回指定管理料が300万円に増額されている。菜種油は平成27年度に伊賀ブランドに認定され、販路も拡大しており、これまで以上の売上げを見込んでいるとの説明があった。増額には納得がいかない。また、バイオ燃料センターは指定管理でいいのか、見直す時がきているのではないかと。

## 上野歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の廃止

平成29年3月1日から

## 上野歴史民俗資料館を民間等に無償貸付へ

平成28年9月議会で同議案が提案されましたが、未来像を明確に示すべきとの理由で否決しています。

全員賛成で  
可決

### 質疑(委員会)

**問** 歴史民俗についての考え方は。

**答** 地域特定の貴重な資料の展示をしながら伊賀地域全体としての資料は一つにまとめていきたいと考えています。

**問** 閉館後の活用方針は。

**答** 伊賀上野観光協会から利用したいという声をいただいています。その場合は、公共的団体に該当するため無償で貸付することになりますが、物品を販売する場合は、その部分は有償貸付となりますので、面積按分等で徴収したいと考えています。

### 討論(委員会)

**賛成**

- 今後、魅力ある資料館作りや学校との連携、市民講座を企画するなどオール伊賀市で取り組んでほしい。
- 代替案として不十分であるが、立地の良さを活かし集客できる施設に利活用してほしい。また、見学して面白い企画や郷土教育を考えた資料館にしてほしい。

賛成多数で

可決

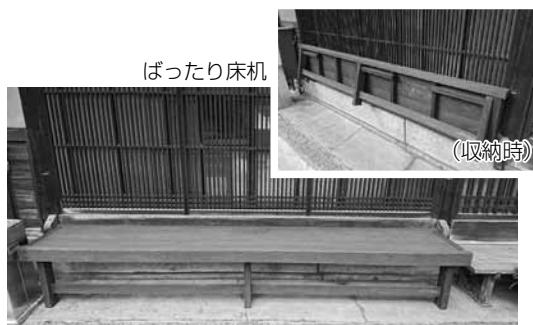
### 一般会計補正予算

#### 「みえ森と緑の県民税市町交付金」活用事業

##### 1 森のやすらぎ空間整備事業 100万円

#### まちなかに森のやすらぎを感じる 空間をつくります

木の薫るやすらぎのある街づくりのため、市内の間伐材を利用して、町家などの軒先にバッテリー床机(しょうぎ)を設置し、街歩きをする人々が気軽に休憩や交流できる場をつくります。



##### 2 ウッドスタート事業 123万円

#### 木製フォトフレームをプレゼント

子どもの成長する写真を伊賀産ひのきを材料としたフォトフレームに飾っていただき、ぬくもりを感じるきっかけを作ります。

対象は、平成28年4月1日以降に出生され、伊賀市に住民登録された方です。



フォトフレーム

### ◇ 伊賀線忍者列車の魅力向上プロジェクト

シティプロモーション推進事業 61万8千円(クラウドファンディング手数料)

#### 伊賀線忍者列車の魅力向上プロジェクトとは？

**目的** 忍者列車のさらなる魅力向上と利用者数増加

- 内容**
- 「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、緑忍者列車1編成2両の車内を木質化(市町交付金は、木質化する部分にしか充てることができません。)
  - 車内の雰囲気を統一するため、床やドアなどの木質化できない部分をふるさと納税のクラウドファンディングを活用し、木目調に張りかえ

※クラウドファンディング: 不特定多数の人が他の人々や組織に財源の提出や協力などを行うこと。

#### 質 疑 (委員会)

**問** 手数料の算出根拠は。

**答** 車内を木目調に張り替えるために市が負担する整備費を571万9千円と設定しましたので、その10%に消費税を加えた金額です。

**問** クラウドファンディングの手法は、例えば図書館等の大規模な改修等を行う場合にも使えるのか。

**答** 整備費の金額によりますが、ふるさと応援基金でクラウドファンディングを活用し、1億円を3回募集して結果4億円を超える応募があったという事例がありましたので検討することは可能です。

水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例  
平成29年4月1日から

#### 水道部と建設部下水道課を組織統合

下水道事業は地方公営企業法を適用し公営企業に移行します。それに伴う組織統合により「水道事業管理者」を「上下水道事業管理者」に改めるなど必要な改正を行うものです。

全員賛成で

可決



[件名]

## 伊賀市障がい児(者)訓練施設等通所費助成事業廃止の再考を求めること

請願者 社会福祉法人伊賀昴会  
理事長 山路晴朗 外122名

紹介議員 嶋岡壮吉、田中 覚、福岡正康、近森正利  
百上真奈、森岡昭二

### 要旨 (抄)

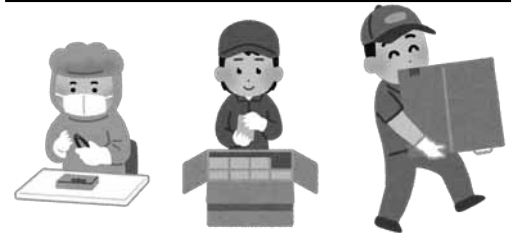
平成28年3月に伊賀市社会福祉事務所長名でこの事業を平成29年3月末をもって廃止するとの「お願い」の文書が出されましたが、何の説明もなく一方的に廃止することに到底納得できません。

本事業が廃止されることになれば、彼らは移動の手段を奪われ、日中は自室にこもる生活に戻ることは予想に難しくありません。そのような生活は、本人はもちろん家族も事業所も誰も望んでおりません。当然、国の指針である「地域で自立した暮らし」とかけ離れたものになります。彼らが万が一、自室にこもることになれば、新たな支援が必要となり、今以上の困難を市は抱えることになることもまた明白であります。

まずは利用状況や利用者の意向調査など科学的な調査根拠をもって判断していただきたく、廃止はいったん延期のうえ、継続に向けて再度ご検討をお願いするものです。

### 討 論(委員会)

**賛成** 重度障害者タクシー料金等助成事業及び障害者施設通所費助成事業を統合するなど、利用者にとって良い制度となるよう検討いただきたい。



## 意見書



### 安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

- 消費税率の引き上げ延期による地方における社会保障の充実施策の実施に支障が生じることのないよう、所要の財源を確保すること。特に、要望の強い保育の受け皿整備に係る財源については、地方負担分も含めて国の責任において適切に財源措置を講じること。
- 人材確保が喫緊の課題になっている保育士・介護職員などの処遇改善など「一億総活躍プラン」関連施策の実施についても、地方負担分も含めて国の責任において適切に財源措置を講じること。
- 人口減少社会への対応という中長期的な課題に取り組む地方自治体をサポートし、地域の実情に応じて自主性・主体性を発揮し、地方創生を推進することができるよう、1兆円の「まち・ひと・しごと創生事業費」を中期的に継続すること。また、地方創生推進交付金等についても、安定的かつ継続的に所要の財源を確保すること。
- 地方自治体が提供する社会保障の充実施策をはじめ、福祉、学校教育、消防、道路や河川等の社会基盤の整備など、国民生活に密接に関連する多くの行政サービスを確実に実施するためには、地方一般財源の確保が不可決であり、特に地方交付税総額については確実に確保すること。

■提出先 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、  
内閣府特命担当大臣(少子化対策)、  
内閣府特命担当大臣(地方創生)



### 地方防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

- 被災者支援システムの全自治体への完備・普及や学区単位での自主防災コミュニティの組織化や訓練の実施等地域防災力の向上を図ること。
- 大規模水害から住民の命と暮らしを守るための自治体の枠を超えた流域ごとのタイムラインの作成や避難行動に直結するハザードマップの作成、適切な避難勧告・指示発令のための体制構築を図ること。
- 災害に強い防災拠点の整備として、スマートフォン等で家族の安否や緊急連絡を得られるようにするための公衆無線LANの設置や災害時におけるトイレ機能確保のためのマンホールトイレの整備を促進すること。
- 子どもや女性、高齢者や障がい者が避難所生活でつらい思いをすることがないように避難所の環境整備や防犯体制を強化すること。

■提出先 内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、  
内閣府特命担当大臣(防災)

# 審議した議案と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対。なお、北出議員は議長のため採決に入っていません。

| 件名                                   | 賛成・反対 | 議決結果 | 赤堀 | 嶋岡 | 田中 | 福岡 | 福田 | 森川 | 生中 | 上田 | 近森 | 中井 | 中谷 | 百上 | 田山 | 森正 | 空森 | 前田 | 岩田  | 安本 | 中岡 | 森岡 |   |
|--------------------------------------|-------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|---|
|                                      |       |      | 久実 | 壯吉 | 覚  | 正康 | 香織 | 徹  | 正嗣 | 宗久 | 正利 | 一彦 | 真奈 | 宏弥 | 正敏 | 栄幸 | 孝也 | 佐俊 | 美栄子 | 久徳 | 昭二 |    |   |
| 平成28年度伊賀市一般会計補正予算(第3号)               | 19:1  | 可決   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○ |
| 伊賀市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定 | 19:1  | 可決   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○ |
| 指定管理者の指定(菜の舎、バイオ燃料センター)              | 16:4  | 可決   | ×  | ○  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○ |
| 上告の提起及び上告受理の申立て                      | 15:5  | 可決   | ×  | ○  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ×  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○ |

## 全員賛成で可決(同意、採択を含む)した議案

|  |   |
|--|---|
| 請願   | 伊賀市障がい児(者)訓練施設等通所費助成事業廃止の再考を求めること   |
| 市長<br>提出議案   | 平成28年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)  |
|  | 平成28年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)   |
|  | 平成28年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)  |
|  | 平成28年度伊賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)  |
|  | 平成28年度伊賀市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)   |
|  | 平成28年度伊賀市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)   |
|  | 平成28年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)   |
|  | 平成28年度伊賀市病院事業会計補正予算(第2号)  |
|  | 平成28年度伊賀市水道事業会計補正予算(第1号)  |
|  | 伊賀線経営安定化等基金条例の制定  |
|  | 伊賀市職員の給与に関する条例の一部改正   |
|  | 芭蕉翁記念館及び蓑虫庵条例の一部改正  |
|  | 伊賀市市税条例の一部改正  |
|  | 伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正  |
|  | 伊賀市国民健康保険税条例の一部改正   |
|  | 伊賀市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正   |
|  | 伊賀市水道事業の設置等に関する条例の一部改正  |
|  | 上野歴史民族資料館の設置及び管理に関する条例の廃止   |
|  | 指定管理者の指定(伊賀市民体育館・伊賀市民弓道場・伊賀市民多目的広場・伊賀市民体育館管理棟、放課後児童クラブふたば、阿山交流促進施設、赤井家住宅) |
|  | 財産の無償譲渡   |
| 損害賠償の額を定めること   |   |
| 副市長の選任(大森秀俊氏)  |   |
| 教育委員会委員の任命(内藤扶基氏)  |   |
| 公平委員会委員の選任(松永彰生氏)  |   |
| 固定資産評価審査委員会委員の選任(中居喜芳氏、城康展氏、富岡通郎氏、内田秀弘氏、柘植明美氏、秋永啓子氏)     |   |
| 島ヶ原財産区管理委員の選任(岩井大行氏、勝島清三氏、土山米徳氏、山秀成氏、川肇氏、松永寿久氏、裏谷健治氏)    |   |
| 大山田財産区管理委員の選任(豆本弘文氏、松本正美氏、西尾孝典氏、中澤敏之氏、馬岡清史氏、福持久郎氏、蛭澤公雄氏) |   |
| 議員<br>提出議案   | 地方自治法第180条第1項の規程により市長において専決処分することができる事項の一部改正                              |
|  | 安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書の提出                                    |
|  | 地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書の提出   |

## 選挙管理委員を選出

12月1日の本会議において、平成28年12月23日に任期満了となる選挙管理委員とその補充員の選挙が行われました。選出された方は次の方です。

※補充員は、選挙管理委員が欠けたときに、順位に従って選挙管理委員となります。

### 選挙管理委員

池口 法行 氏  
福川 喜志子 氏  
山菅 善文 氏  
竹岡 良昌 氏

### 補充員

順位第1番 藤田 建五氏  
順位第2番 馬岡 裕子氏  
順位第3番 吉藤 綾子氏  
順位第4番 松井 隆昇氏



# 新年度予算編成等に向けた意見書を市長に提出



市議会では、平成27年度各種会計決算の審議内容をもとに、総務・教育民生・産業建設の3つの常任委員会において抽出した施策や事務事業の成果等について調査しました。

その結果を取りまとめ、新年度予算編成や市政執行に対する市議会の意見として12月5日に市長に提出し、3月定例会における平成29年度各種会計予算審議に向けて、意見に対する考え方の回答を求めました。

| 委員会名      | 施策名または事務事業名  | 意見の概要   |
|-----------|--|---|
| 総務常任委員会   | ■ 庁舎維持管理経費   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務委託契約方法の見直し</li> <li>● 基準作成等による統一的な契約監理体制の確立</li> <li>● 契約期間の見直しなどによる経費節減</li> </ul>            |
|           | ■ 市有財産管理経費   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 財産管理のルール化</li> <li>● 未利用地リストの公表</li> <li>● 施設の管理(解体も含む)に対する基金活用の検討</li> </ul>                    |
| 教育民生常任委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 重度障害者タクシー料金等助成事業</li> <li>■ 障害者施設通所費助成事業</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 助成事業の統合</li> <li>● 重度障害者タクシー料金等助成事業の助成額の引き上げと制度の見直し</li> <li>● 上記にかかる予算措置</li> </ul>             |
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家庭児童相談事業</li> <li>■ 母子、父子自立支援事業</li> <li>■ 女性相談事業</li> <li>■ 子育て支援対策事業</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童虐待に関する全児童への調査検討</li> <li>● 相談業務の体制強化と情報共有</li> <li>● 上記にかかる予算措置</li> </ul>                     |
| 産業建設常任委員会 | ■ 着地型観光推進事業経費(伊賀ぶらり体験博覧会)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加者アンケートの詳細な集計、分析による施策の見直し</li> <li>● プログラム提供した事業者調査による効果の検証</li> <li>● 語り部の会などへのサポート</li> </ul> |
|           | ■ 企業立地促進経費   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業の本社機能誘致のための優遇措置の検討</li> <li>● 大学の研究機関等の誘致の検討</li> </ul>                                      |

## 議会活動の報告

### 所管事務調査(行政視察)

#### 議会運営委員会 10月5日(水)~6日(木)

- 千葉県柏市議会 議場設備  
(大型スクリーン、電子採決システム等)
- 神奈川県小田原市議会 予算決算審査

## 「見て分かる議会」への取り組み

柏市議会は、議場設備の老朽化によるマイクシステムや映像システムなどの全面改修に伴い「市民に分かりやすい議会」という視点で、採決システムを導入しました。

議場内では、150インチのスクリーンや60インチのモニターにより、会議の内容が映像として映し出され、その映像がそのままインターネット上で生中継により流れる仕組みとなっています。

また、一般質問などの質疑・答弁では、書画カメラシステムにより議員が作成した資料等がスクリーンに映し出され、質疑・答弁の内容を補完するものとなっています。



(書画カメラシステム)



(表決中)



(採決結果)

(写真はいずれも柏市議会)

表決では、押しボタン式による採決システムにより、各議員の賛成・反対の意思や、賛否結果が瞬時にスクリーンに映し出される仕組みとなっています。

これらの設備により、傍聴者やインターネットの視聴者にも会議の進行や内容が大変分かりやすく、視覚的効果の高い議会運営が行われていると感じました。市民からも非常に分かりやすくなったという声を、たくさんいただいているとのことでした。

小田原市議会は、予算・決算委員会は議長を除く全議員で構成する特別委員会を設置し、さらに、各常任委員会を特別委員会の分科会として活用する方法により審査を行っています。特徴的なものとしては、分科会審査において係長級職員と議員が対面し書類審査を行うことにより、審査の充実に繋げているとのことでした。

伊賀市においても「より市民に分かりやすい議会運営」、「より充実した審査・審議」が行えるよう、これらの取り組みを参考にし、今後に生かしていきたいと考えます。

## タブレット端末を導入しています

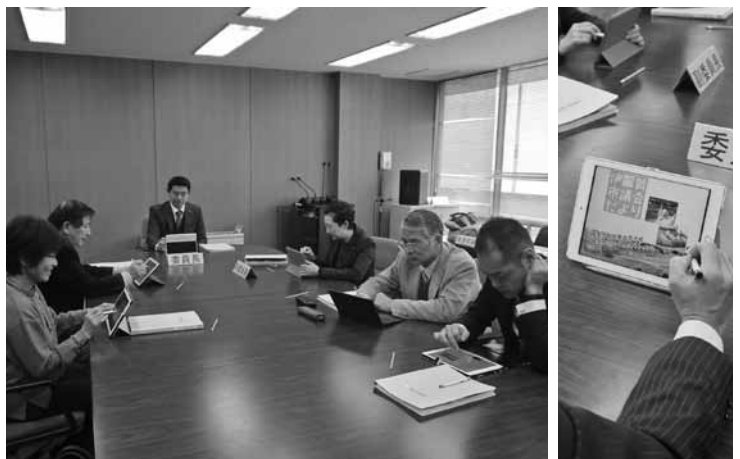
市議会では、議会活動のさらなる活性化と議会内の情報共有のため、タブレット端末を活用しています。

### ■全議員が自費でタブレット端末を購入

高額な経費をかけたシステムではなく、無料のインターネットサービス(メール、オンラインストレージ、カレンダー)を利用した簡易な会議用システムを構築し、平成27年4月から試行的に運用を開始しています。議場や委員会室内での活用も可能としています。

### ■タブレット端末導入による効果

持ち運びできるタブレット端末により、いつでもどこでも会議資料や行政情報、スケジュールなどが確認でき、メールにより即時に情報の共有ができます。(個人情報を含む資料等はシステムに掲載していませんので、漏えいの心配はありません。)



広報委員会の様子

### ■今後の検討事項

現在は、書面による会議資料と併用していますが、ペーパーレス化による経費節減も期待できます。

また、議会だけでなく市長部局等との一体的なタブレット端末の活用、システム構築により、スムーズな議会運営や一層の情報共有が可能であると思われます。

# 要望書を提出

## 名神名阪連絡道路整備促進伊賀市議会議員連盟

地域高規格道路の調査路線として指定された、国道165号から名阪国道、新名神高速道路、名神高速道路を經由して、国道8号までを結ぶ名神名阪連絡道路は、地域経済の進展や地域コミュニティの維持、災害時の道路交通、更には新たな観光ルートの開発など、大きな役割を持つ道路で、地域の期待も高く、関係市町にとっては早期実現が望まれています。

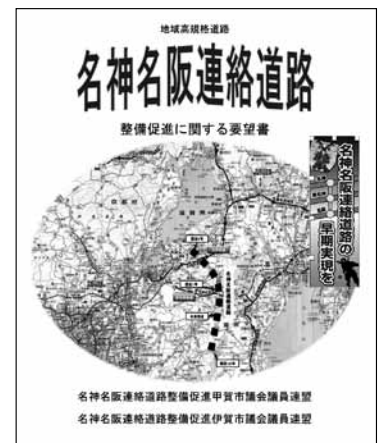
議会においても早期実現に向け、議員全員で構成する「名神名阪連絡道路整備促進伊賀市議会議員連盟」を立ち上げ、関係市長、町長で構成する「名神名阪連絡道路整備促進既成同盟会」、地域で構成する「名神名阪連絡道路の整備区間指定を実現する会」などと、要望活動を行いました。



要望活動の様子

### <平成28年 要望活動>

| 月 日    | 場 所                        | 要 望 書 提 出 先                            |
|--------|----------------------------|--|
| 10月 3日 | 近畿地方整備局                    | 近畿地方整備局長                               |
| 11月28日 | 北勢国道事務所<br>中部地方整備局<br>三重県庁 | 北勢国道事務所長<br>中部地方整備局長<br>三重県副知事、三重県議会議長 |
| 12月19日 | 滋賀県庁                       | 滋賀県知事、滋賀県議会議長、<br>滋賀県土木交通部長            |



## ようこそ！ 伊賀市議会へ 府中小学校3年生が社会見学

10月20日に府中小学校3年生の児童40人が議場見学にいられました。子どもたちは、議員席や市長席などに座り、事務局職員から議会の仕組みや役割の説明を受け、メモを取りながら熱心に聞いていました。



### ☆子どもたちの感想☆

「思っていたより議場が広かった」

「市長さんの席に座ったら、市長さんになった気分で楽しかった」

「マイクを使って質問したので緊張したけれど気持ちよかった」



質問タイムでは、マイクを使って質問できるとあって、子どもたちは元気よく手を挙げ、発言の残り時間を表示するタイマーを見て「前にある〇分〇秒と書かれているものは、何に使うのですか」、正面に掲揚している国旗と市旗を指して「前にある2つの旗は、日本の旗ともうひとつはなんですか」、議場内のマイクの音響を調整している職員について、「あの人は何をしていますか」などの質問をしていました。

市議会では、市の将来を担う子どもたちに議会をより身近に感じてもらうため、議場見学を積極的に受け入れています。小中学生の社会見学として、普段なかなか見ることのできない議場を訪れてみませんか。

※なお、会期中などの事情により、見学できない日があります。







# ここが聞きたい



# 市政を問う



## 一般質問

一般質問は、12月8、9、12日の3日間で、15人の議員が市の諸問題についての質問をしました。

安本 美栄子 議員

### 質問項目

- 地域医療・福祉の充実
- 街なみ環境整備



**問** 病診連携（開業医に対する支援）の体制づくりは

**答** 在宅医療を中心に後方支援の役割を果たします

市民病院は、平成28年10月より、三重県知事から「地域医療支援病院」の承認を得ました。その役割は次の5つです。

- 1 在宅医療を支援するために、紹介及び逆紹介による医療機関の連携を進めます
- 2 二次救急医療病院としての充実を図るため、救急当番日以外でも平日は受け入れを行っています。24時間体制の推進を目指します
- 3 がん連携推進病院として、特に消化器系がんの早期発見、治療に努めます
- 4 他の地域へ行かざるを得ないがん患者のために、緩和ケア病棟の充実を図ります
- 5 消化器系がん治療について、医療従事者の資質向上を目指し、症例検討会や研修会を行うなど中核病院としての役割を果たします

**問** 在宅患者に対する薬の管理のしくみは

**答** お薬手帳を連絡帳として情報の共有を行います

これまでのお薬手帳を連絡帳として、医療や介護福祉関係者が情報共有し、安心して在宅医療を受けるための取り組みです。

田中 覚 議員

### 質問項目

- 得票数1万6555票
- 映画「殿、利息でござる！」の精神と補完性の原則



**問** 市長選挙を振り返って

市長は、一期目の4年間は、これまで先送りされていた多くの政策課題を解決されました。この市長選挙を分析する中で、市長が市民と政策課題を共有し、その解決方法について信頼を得る。次に、市民に説明し、進捗状況を伝え、伊賀市のあるべき姿とともに想像するという流れが出来ていなかったのではないかと。

「何も出来ない、していない、議会と対立している」という噂はこれが原因と考えます。より一層情報を集め、分析し、公開していくことが説明責任であると考えます。

**答** 市民との情報共有は大切です

広聴広報活動の中で特に広報活動に重点をおきます。現在、情報発信を促進するため、ホームページのリニューアルに着手しています。同時に、財政を改善したのは、次なる投資に向けての体力作りと考えます。

**問** 篤志家の思いは

少しでもきれいな状態で観光客の方をお迎えたいという思いから上野天神祭前に、庁舎北側の壁面洗浄がクラウドファンディングの手法で行われました。

※1 篤志家：社会奉仕・慈善事業などを熱心に実行する人  
※2 クラウドファンディング：3ページ参照

**答** 市民意識の覚醒が芽生えています

この地域に住んでいる全ての人が地域のことを思い、先の世代のことを思うことが大事です。

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています。

# 一般質問

前田 孝也 議員

## 質問項目

- 少子高齢化、人口減対策
- 伊賀市の賑わい創出
- 国道368号拡幅工事

### 問 少子高齢化、人口減対策

伊賀市の人口は、合併後の約10万1千人から現在は9万5千人を切りました。三重県内の29の市町で人口減少率が最も高いのが伊賀市です。

最近の合計特殊出生率は国が、1.42%、県が1.45%、伊賀市は、1.37%です。子育て分野の対策として人口減少に歯どめがかからない現状をどのように分析し、対応していくのかお尋ねします。

### 答 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への取り組み

伊賀市の出生率を1.65%を目標値として掲げ、子どもを育てられる環境を重視し、結婚サポート、妊娠、出産、子育ての切れ目のない環境を充実させる取り組みをすすめています。



嶋岡 壮吉 議員

## 質問項目

- 災害対策
- 道路管理
- ため池の利用
- 空き家対策

### 問 市内の避難所の種類と分類は

伊賀市地域防災計画では、避難所は次の5つに区分しています

- 1 「一時立寄り所」  
各地区で定めていただいた集会所や公民館で、次の避難場所に移動するまでに、地域住民が情報収集や安否確認等を行うための集合する所
- 2 「指定避難所」…72箇所  
地域に避難勧告や避難指示が発令された場合、住民が一定期間避難生活をする所
- 3 「拠点避難所」…39箇所  
指定避難所を統括し、防災備蓄倉庫等が配置されている所
- 4 「福祉避難所」…26箇所  
指定避難所や拠点避難所での避難生活が困難な方のために、何らかの特別な配慮がされた所
- 5 「指定緊急避難場所」  
地震、洪水、土砂災害等の危険から緊急に逃れるため、一時的に参集する所

### 問 避難所の案内看板の設置場所と数は

答 全ての指定避難所と拠点避難所に、一箇所につき2〜3本設置しています



中井 洸一 議員

## 質問項目

- これまでの4年間の市政
- 地域おこし協力隊への期待度は
- 国土調査の現状と今後

### 問 地域おこし協力隊へのサポート体制は

地域おこし協力隊をより有効に活用し、かつ着任された二人の隊員が活動しやすいよう、行政がなすべき役割についてどのように考えていますか。また、隊員の処遇はどのようになっていますか。

### 答 隊員が活動しやすい環境づくりに努めます

隊員が円滑な活動が出来るよう、行政、地域、隊員の三者が月一回定例会を開催したり、隊員の不安を少しでも解消するため地域の方に世話を願っています。さらに、専門の学識経験者を交えての研修会などを積極的に開催するとともに、今後も隊員募集を推進していきます。

また、隊員は非常勤の特別嘱託職員のため、副業も可能で、将来に向けた定職活動を認めています。

### 問 国土調査の現状と進捗は

これまで、再三提言してきましたが、国土調査事業が遅々として進んでいない現状（三重県は全国ワースト2）を踏まえて、今後どのように進めていきますか。

### 答 さらに進捗率を高めよう取り組みます

予算、人員ともに非常に厳しい状況ですが、国からの補助金を強く求め、一層の進捗率の向上に努めます。





# 一般質問

森川 徹 議員

**質問項目**

- 認知症対策
- AEDの設置
- 状況
- 上野総合市民病院の経営状況



**問** 認知症対策

2025年には認知症患者が全国で700万人を超えるといわれていますが、現在、伊賀市に認知症の方は何人いるのですか。また、その方々への対策についてどのように考えていますか。

**答** 地域での見守りとGPS装置で対応します

平成27年12月末現在、伊賀市で2919人の方が認知症という診断を受けており、要介護認定においてIIaランク以上といわれる認知症傾向の方々を合わせると4050人というデータが出ています。認知症の方への対策としては、地域での見守りなど近所の人と良い関係を築いていくことが重要です。

ハード面の対策としては、居場所検知のためのGPS装置を市が購入して貸し出しをしており、利用料として月額640円をご負担いただいています。小型でヘルトや靴に装着できる便利なものがあります。

また、これらの支援についての周知方法としましては、記者会見やケーブルテレビだけでなく回覧板などの方法も考えていきます。

※IIaランク：「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」のことで、介護保険制度の要介護認定でこの指標が用いられています。

森岡 昭一 議員

**質問項目**

- 伊賀市再生への2期目の抱負
- 今後の財政と事業展開
- 福祉と医療の充実
- 長寿命化対策の進捗状況
- 公共施設最適化計画の進捗状況



**問** 2期目の抱負は

市長は2期目に入り、今までの4年間でいろいろな課題や問題、さらにはこういう部分は手厚く取り組まなければならないという思いを実感していると思います。そこで、これだけは4年間で成し遂げたいと考えていることについてお聞きします。

**答** 先を見据えた政策や方針を形にしていきたい

「来たい、住みたい、住み続けたい伊賀」誇れる伊賀「選ばれる伊賀」ということを目標としています。そのためには、少子高齢化、人口減少の中で持続可能な行財政を行う必要があります。次世代のためにも医療や福祉の担保が大きな課題となっていますので、これらをしつかりと確保することが最終目標の一つだと思っています。

さらには、今一番解決すべき課題は、伊賀市の人口減少、若い方が市外へ出て行ってしまふことだと思っておりますので、先を見据えた政策を行っていきます。

田山 宏弥 議員

**質問項目**

- 伊賀市体化の課題
- 伊賀市の賑わいづくり
- 芭蕉翁に関する取り組み



**問** 「上野天神祭ダンジリ行事」の支援・体制の見直しは

ユネスコ登録を契機に財政的な支援のあり方や開催日を土・日曜日にする等の運行体制の見直しが必要であると思います。どのように考えていますか。

**答** 関係者の方々と協議の上、実現していきます

上野天神祭ダンジリ行事は世界に誇れる行事であり、伊賀市全体で保存・継承を考えていかなければなりません。これまでは、上野地区の地区振興補助金として補助していましたが、この登録を契機



に別枠の補助金制度を作り、地域の方だけでなく、みんなが繋げていく必要があると考えています。

更に、社会状況を見ると、担い手確保のためには、土・日曜日開催は不可避です。関係の方々話し合い、納得の上、前に進めていきます。

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています。

# 一般質問

生中 正嗣 議員

## 質問項目

●市長の所信  
表明に関連  
して



**問** 市長が保存・改修後にイメージする施設は

現南庁舎を改修し、賑わい創出のためどのような施設をお考えですか。

**答** 31億円の経済効果を生む施設です

お年寄り、子育て中の方、高校生、更にはお勤め帰りの方など、様々な年代の市民が集う新しい交流型の図書館。先人が残してきたことを体感しながら街づくりに繋げていけるような美術館。また、観光インフォメーション、高等教育機関、コーヒーストップ等を併設し、市民や観光客で一日中賑わう複合施設です。

**問** 現庁舎を保存するか、解体するかのは是非を「住民投票」に委ねては

合併特例債の活用期限が迫る中、市長は保存、議会は解体（の決議）と全く異なった考え方であり、このままでは解決策はありません。再選されたとはいつもの、民意を問うために住民投票を実施してはごとうですか。3月に実施する市議会議員選挙と同日に実施すれば経費削減も図れます。

**答** ありえませんが

この問題は、市長選挙に公約として掲げ当選しました。このことにより、「市民の皆様から付託を受けた。」すでに市民の皆様が結論を出された。」と考えています。

岩田 佐俊 議員

## 質問項目

●安心・安全な  
市民生活  
●超高齢社会  
問題  
●廃校舎の利  
活用  
●人口減少対策  
●新庁舎建設



**問** 1分1秒に対応できますか

新消防庁舎から中瀬地区方面への道路が通行止めになっており、消防車や救急車のいち早い対応が出来ない状況です。北部地域にお住まいの住民の皆様が、この道路の早期開通を望んでいます。通行止めの理由と今後の対策について伺います。

**答** 開通は未定です

国道163号から南側へ約150mの場所に、50mにわたり埋蔵文化財があり、発掘調査をする必要があります。来年度から調査に入り、終了次第、工事に取り掛かる予定ですが、一日も早く開通できるよう努力します。

**問** 予定価格で出来ますか

新庁舎の本体工事価格は51億円と聞いていますが、近年、公共施設の建築費が1.5〜2倍近くに高騰しています。もし、入札不調等になった場合、次の入札までどのくらいの期間が必要ですか。

**答** 全国的に厳しい状況です

建築面積の縮減、内外装グレードの圧縮、華美な要素を徹底的に排除する等、事業の縮減に努力しています。入札不調等が生じた場合、原因分析、再積算及び入札手続き等の期間を含めて次の入札までに6ヶ月程度の期間が必要です。

中谷 一彦 議員

## 質問項目

●バス路線の運行改善に福祉目線が入っていますか  
●生活困窮者、高齢者、母子家庭などの就職困難者に対する就労自立支援  
●支所機能と支所庁舎  
●低年齢児の保育需要に対応するための保育士の確保



**問** 地域運行バスへの支援は

地域が主体的に地域の移動手段を検討する「地域公共交通活性化再生協議会」の地域部会が設立されましたが、地域制度の導入についてどのように考えますか。

**答** 検討します

バスの乗客への聞き取り調査を基に、地域部会との協議を踏まえ、地域に合った運行方法を提案します。デマンド運行など、地域運行バスとなった場合、一定の補助金の支出も検討していきます。

**問** 就職困難者を支援する企業の紹介と、表彰を

企業では生活困窮者のための研修会の開催、国県においては支援施策についての情報提供など、障害者雇用促進法に基づいた啓発活動を行うことが必要です。積極的に雇用に取り組んだ企業に対して何らかのインセンティブが必要ではありませんか。

**答** ハローワークとの連携と特定求職者雇用開発助成金制度の広報を行います

ハローワーク、市の商工労働部署との連携が大きく関わってきます。積極的な障がい者雇用、女性就労のサポートなどの取り組みを紹介していくことが双方にとってのメリットとなります。



# 一般質問

森 正敏 議員

## 質問項目

- 歴史まちづくり法
- 通学路の安全確保
- 地域包括ケアシステム



### 問 児童生徒の通学路は安全ですか

全国各地で登下校中の児童の列に車が突っ込み、子供たちの命が無残に奪われる事故が起っています。このような事故に対して教育現場ではどのような対策をしていますか。

また、通学路の安全点検は定期的に行っているのかお尋ねします。

### 答 交通安全指導は十分実施しています

子供たちがルールを守っていても起こる登下校中の悲惨な事故について、憤りを感じます。学校では常々、交通安全指導を行っています。特に小学校1年生については、4月から約1ヶ月間、下校時に教員が家の近くまで送っています。

そして、交通安全協会、警察、自動車学校の協力を得ながら、交通安全の指導を受けたり（平成28年度は小学校18校、中学校5校が受講）、ボランティアの方に下校時の見守りをしていただいています。

また、通学路の安全点検については、通学路安全推進会議において毎年、定期的に点検を実施しています。

福岡 正康 議員

## 質問項目

- 市周辺部の地方創生
- 市街地の地方創生
- 地方創生と市職員のあり方



### 問 伊賀市創生計画の実現が可能か

一次産業の課題として担い手の不足・農林農地の荒廃を挙げていますが、これらの課題解決には多面的機能支払交付金、獣害対策、農業集落排水事業の早期実現等、三重県農林水産部との密接な協力関係が必要ではありませんか。合併特例債による拠点整備・地域予算の積算方法の見直しと使いやすさの改善はどうなっていますか。上野天神祭のダンジリ行事がユネスコ無形文化遺産に登録されましたが、この大変なブランドの有効活用として世界文化遺産の熊野古道の先例を踏まえた三重県との協力体制が必要ではありませんか。

これら個々の政策の積み上げ及び本定例会で述べた市長の所信表明及び選挙時に述べた公約で、自信を持って平成32年度目標の伊賀市の人口9万人達成は可能ですか。

### 答 皆でやっつけます

目標人口達成のため、一生懸命やらせていただきます。伊賀市創生計画の実現が不可能ではないことを皆さんと共有させていただきます。

百上 真奈 議員

## 質問項目

- 水道事業基本計画中間案
- 高齢者介護・福祉施策



### 問 現計画案とダム利水撤退を比較検討すべき

水道事業基本計画中間案の住民説明会が市内6会場で開催され、223人の参加がありました。全国に誇れる美味しい水を、伊賀市だけが多額の費用を負担するダムの水に置き換えることは許さないと市民が声を上げています。立ち止まってダム利水撤退の計画案と現計画案との比較検討をすべきです。

増える予定の工場用水のうち上野南部丘陵は、現在山林であり3年後の大幅な増量は見込めないと考えます。収支計画の見直しと、工場進出が見込めない場合の収支計画書の提出を求めます。

### 答 様々な問題を策定委員会ですっきりと審議していただきます

市長答弁 水道事業基本計画策定委員会が様々な問題についてしっかりと審議していただきます。同時に、皆さんも市民に水道問題を知らせる努力をしていただきたいと思います。

部長答弁 料金収入を低く抑えた収支見直しを立てています。また、見込んでいる水道料金については、策定委員会でお示しします。

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています。

# 一般質問

近森 正利 議員

## 質問項目

- 児童虐待防止の取り組み
- 障がいを知り、共に生きる「あいサポート運動」
- 支援を必要とする方と支援する側のための「ヘルプカード・ヘルプマーク」
- 若者が農業を始めるための支援
- 小学校・中学校での災害時避難



**問** 障がいを知り、共に生きる「あいサポート運動」の実施を

誰もが地域の中でいきいきと暮らしていくためには、自分が理解されていることが必要ですが、障がいの内容や配慮等については、広く知られていません。障がいを知ること、障がい理解でき、困っていることも分かります。多くの人に、障がいについて知ってもらう機会として「あいサポート運動」の実施を提案します。

**答** 知ることが大事であり、知ってもらうことから始めていきます

**問** 周囲に理解や手助けを求められる「ヘルプカード・ヘルプマーク」の作製を

「障がいがあり手助けを必要とする方」と「手助けをする方」をつなぐ意思表示のカードやマークがあります。日常生活や災害時など困ったときに提示することで周囲に理解や手助けを求められるヘルプカード・ヘルプマークを提案します。

**答** ほぼゼロ予算で実施できますので、研究し実施に向けて取り組んでいきます

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています。

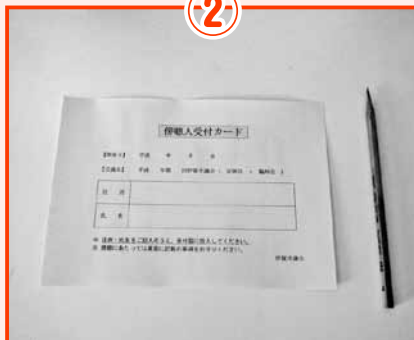
## 傍聴の手続きが変わりました

これまで、議会の会議を傍聴いただく場合は、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入していただきましたが、個人情報保護のため、議場入口等の傍聴受付にて、お一人ずつ「傍聴人受付カード」に記入後、受付箱に入れていただくという方法に変更しました。

会議は、どなたでも傍聴できますのでぜひお越しください。



傍聴受付（議場入口）



受付カードに記入



受付箱に入れる

## これらの行為は 全て禁止です！

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず**法律で禁止**されています。また、有権者が政治家に対し**寄附**を求めることも**禁止**されています。

|                                   |                                   |                     |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------|
| <p>お中元・お歳暮</p>                    | <p>結婚祝い・香典<br/>(本人が出席する場合を除く)</p> | <p>葬式の花輪・供花</p>     |
| <p>地域の集会や旅行等の催し物への寸志や飲食物の差し入れ</p> | <p>運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ</p>       | <p>お祭りへの寄附や差し入れ</p> |
| <p>落成式・開店祝いの花輪</p>                | <p>入学祝い・卒業祝い</p>                  | <p>病気見舞い</p>        |



# 市議会広報委員がおしゃします!

市議会だよりを身近に感じていただきたいという思いから、市民の皆さんが登場するコーナーとして始めたインタビューも第6弾となりました。今回は愛農学園農業高等学校の実習におじゃましました。

## 愛農学園農業高等学校(別府)

愛農学園農業高等学校は、全寮制で互いに協力しながら、有機農業を中心とした農業教育を行う日本で唯一の私立の農業高校です。卒業後1年間農家でホームステイをしながら学ぶ農業専攻科の生徒を含め全校生徒は58人です。

2年生からは、果樹・野菜・作物・酪農・養鶏・養豚の6つの部門から選択し、実習や農場当番を通じて専門的に農業を学びます。



三重県産の木材を使用した温かみのある教室と図書館

# 野菜部、酪農部、養豚部をピックアップ

## 野菜部



—将来「農業をやる」と決めてこの学校を選んだのですか?

もともと和食やカフェに関心がありました。ある日、韓国のテレビでこの学校の存在を知り、留学して日本の調理を学びたいと思いました。

有機農業を学び、将来は、安心・安全なものを作る農業を行いたいと思っています。

祖父が農業をされており、親に勧められたのがきっかけです。

—今、畑ではどんな作業をしているのですか?

玉ねぎの苗を植えています。収穫した玉ねぎは、自校の給食に使用するほか、スーパーや幼稚園へ出荷します。また、JAなどの地場産売り場で販売されることもあります。

—自分が大切に育てたものをいただくって感動的ですね。

自分が育てるようになって、ここで作った野菜がそうでないかが分かるようになりました。また、野菜に触れて野菜がかわいと思うようになりました。

—卒業後の夢は?

大学に進んで、社会科の先生になりたいです。そして、全国のそれぞれの地域にある課題に触れてみたいと思っています。

## 寮生活について



—毎日一緒に生活しているとみんなと気持ちが通じあうのもあったという間だったと思いますが、どのように感じていますか?

3人で一部屋ですので、けんかをする事もありますが、一緒に生活していると、口をきかない訳にもいかないの、いつの間にか仲直りしています。

また、決められた時間にはミーティング室でテレビを見ることが出来ます。

—校内の農場で育てた食材が毎日の食卓に並ぶそうですね。味は?

学校内自給率は70%以上です。生徒が作る寮生活の食事は、作った人の顔が見えて、より美味しく感じます。

牛乳も毎日飲んでいたので、味で牛の体調が分かるようになりました。

## 酪農部



—現在、学園に牛は何頭いるのですか?

16頭の乳牛がいます。そのうち8頭で搾乳をしています。残りの8頭はお産の準備をしています。

—農業当番というのがあるそうですが、どのような仕事をするのですか?

朝5時からと夕方6時からの1日2回搾乳をしています。朝早いのは大変ですが、2・3年生で交代して頑張っています。

—搾乳した牛乳はどうするのですか?

乳業者に出荷したり、殺菌後給食で飲んでいきます。

## 養豚部



—畜産加工室で処理された豚肉はこの後どうなるのですか?

スライス、ミンチ、ベーコン、ハム、ソーセージなどに加工後、出荷しています。

—「愛農ナチュラルポーク」というブランドですね。卒業後の夢は?

実家が養豚場を営んでいるので、後を継ぎたいと思っています。

農業に関わっていきたいと考えています。また、働きたいという思いもあります。

—6つの部門の中から養豚部を選んだ理由は?

もともと豚に対しては汚くて泣き声がうるさいと思っていました。しかし、愛農学園の豚はストレスの少ない広いスペースで清潔に飼われていました。このような豚を尊重する心や育て方に魅力を感じました。

—何度も経験されたと思いますが、育てた豚が出荷されて行く時の気持ちは?

育てた豚を初めて出荷した時は、情がわいてとても辛かったです。しかし、出荷後販売され、買われた方に美味しく食べていただき、健康な体作りに役立っているという考え方に変わってきました。

# 農業っておもしろい!

# 私たちが部長です

## 野菜部



角銅さん(写真左)

## 酪農部



菅谷さん

## 養豚部



崔さん(写真右)

## 活動の様子



おそろいの「あいのうTシャツ」で作業



牛舎で農業当番(えさやり)



畜産加工室で出荷作業

## 愛農学園ラグビー部の紹介

ラグビー部は3年生が引退したので2年生2人、1年生10人の合計12人で活動しています。昨年は部員数が少なかったため、他校との合同チームでしたが今年は愛農学園のみで1チーム作ることができました。現在の部員は全員がラグビー未経験者ですので、新しい部員の勧誘をしながら日曜日を除いて基本的に毎日練習に励んでいます。今は、2月に開催される三重県高校ラグビー新人大会で勝利することを目指しています。



キャプテン 西田さん

## 編集後記

愛農学園の生徒達が純粋な笑顔で夢を語る姿はとともキラキラしていました。私たちもあのような気持ちや姿勢をいつまでも忘れてはいけません。

広報委員会の担いは読まれる広報誌の作成に尽きます。今後、読者率も意識しながら、更なるクオリティを求め広報委員一丸となって進めてまいります。(森川)

## 3月定例会の日程(予定)

3月26日に行われる市議会議員選挙の関係で例年より早い日程となっています。

|    |        |           |
|----|--------|-----------|
| 2月 | 13日(月) | 本会議(開会)   |
|    | 20日(月) | 本会議(一般質問) |
|    | 21日(火) | 本会議(一般質問) |
|    | 22日(水) | 本会議(一般質問) |
|    | 23日(木) | 本会議(一般質問) |
|    | 24日(金) | 予算常任委員会   |
|    | 27日(月) | 予算常任委員会   |
|    | 28日(火) | 予算常任委員会   |

|    |       |            |
|----|-------|------------|
| 3月 | 1日(水) | 予算を除く常任委員会 |
|    | 2日(木) | 予算を除く常任委員会 |
|    | 8日(水) | 本会議(閉会)    |

※本会議と予算常任委員会は10時から始まり、その他の各常任委員会の開催時間は、開会日に決定します。

※定例会の日程は、変更になる場合があります。

## 広報委員会

〈委員長〉近森正利  
 〈副委員長〉福田香織  
 〈委員〉嶋岡壮吉 福岡正康  
 森川 徹 百上真奈  
 森 正敏

次号は5月15日です。

発行:伊賀市議会  
 編集:伊賀市議会広報委員会

## ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出ししています。希望される場合は、下記までお問い合わせください。

郵送 〒518-8501 伊賀市議会事務局「伊賀市議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ http://www.city.iga.lg.jp

